

人権・平和・環境

あしだがわ

発行				【公民館】				【コミュニティー・館】			
南部ブロック社会教育センター				泉	951-1557	熊野	959-0001	内浦	986-3535	山手	951-5679
福山市水呑町4748				山手	951-9381	水呑	956-3943	常石	987-3839	瀬戸	951-1809
(水上スポーツセンター内)				津之郷	951-1002	高島	956-0219	千年	987-3188	鞆	982-1882
TEL 956-4641				赤坂	951-1001	鞆	982-2664	山南	988-1981	熊野	959-0943
FAX 956-6070				瀬戸	951-1003	走島	984-2550	能登原	987-4460	能登原	987-2559
				明王台	952-3511	内海	986-3722				

E-mail:nanbu-shakyou@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ (URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) からキーワード「あしだがわ」で検索



じょうさいこうくじんけんがくしゅうこうざ ほうこく
城西校区人権学習講座 報告

じょうさいこうくじんけんがくしゅうこうざ ことし かいおこな やく
城西校区人権学習講座は、今年も9月2日から11月14日まで3回行われ、約300

さんか だい こうざ ほうこく
人の参加がありました。その第1講座について報告します。

じんけん はんしん あわじだいしんさい おし
「人権ってなんだろう？」～阪神・淡路大震災が教えたもの～

ぜんこくりんぽかんれんらくきょうぎかいがいちよう なかお ゆきお
全国隣保館連絡協議会会長 中尾 由紀雄さん

こ しあわ おや ねが にんげん い
子どもが幸せになってほしい、すべての親の願いです。そして人間らしく生きたい、す

ひと も おも わたし おも ねが さまた
べての人が持っている思いです。でも私たちの周りには、その思いや願いを妨げるもの

いしき むいしき おも こうい
があります。意識しておこなうだけでなく無意識のうちに、あるいはよかれと思う行為が、

けっかてき ひと きず き にちじよう できごと
結果的に人を傷つけることがあります。その“気づき”は、ちょっとした日常の出来事が

ヒントになります。

おの いのち うば はんしん あわじだいしんさい ねん す
かけがえのない多くの命を奪った阪神・淡路大震災、あれからすでに14年が過ぎまし

しんさい わす かな できごと ちよくご となりきんじょ たす あ はげ
た。震災は忘れることのできない悲しい出来事です。でも、直後から隣近所が助け合い励ま

すがた ひと ひと ささ い たいせつ おし
しあった姿は、人と人とが支えあいながら生きていく大切さを教えてくれました。

とうじ なかお かんちよう つと あしやしりつかみみやわかいかん りんぽかん
当時、中尾さんが館長を努めていた芦屋市立上宮川会館(隣保館)

しんさいちよくご ひなんじょ どうわ ちく ないがい じゅうみん
は、震災直後から避難所となり、同和地区内外の住民400人と

ちようかくしやう しゃ ひなん すう げつ せいかつ
聴覚障がい者7人が避難し、数ヶ月にわたって生活をともにしま

ひなんじょ しゅうだんせいかつ たいけん れい じんけんもんだい けつ たにんごと
した。避難所での集団生活の体験を例に、「人権問題は決して他人事

かいけつ いとぐち にちじよう ひと ひと
ではない。その解決の糸口は、日常の人と人との“ふれあい”や“つ

ながり”により、自己実現をめざすことが、人権文化を拡げ、高め

とく
る取り組みにつながる」と語られました。

ひと
人・まち・ふくしフェスタ@うつみ・ぬまくま2009

せいねん ちち やまもとたきのすけ ひと まな
～青年の父・山本瀧之助とふるさとの人たちに学ぶ～

ぬまくま ししやうしやじやう たさい おこな
11月8日(日)沼隈サンパル、支所駐車場、などで多彩なイベントが行われました。

ことし きやうど うだ せいねん ちち やまもとたきのすけ まな せいねん とも あゆ
今年は、郷土の生み出した「青年の父・山本瀧之助」に学び青年と共に歩むまちづくりを

せいねん こうえん かくせいねんだんたい だんたい せいねん しゅちやう も あ
めざした青年フォーラムでは講演と各青年団体9団体による青年の主張で盛り上がりまし

いぶん かこうりゆう にほんごがっこうりゆうがくせい いけんはっぴやう きやうかん はくしゅ ひと おお み
た。また、異文化交流では日本語学校留学生の意見発表に共感し拍手する人が多く見ら

じゅうみんがくしゅう いっかん しかいしゃ じよげんしゃ さんか がっく
れました。また、住民学習の一環として司会者・助言者が参加した学区もありました。

せいねん ちち やまもとたきのすけ あしあと しょうかい
「青年の父・山本瀧之助」足跡を紹介

ふくやましぬまくまちょうおおあざくさぶが う じたく しきよ さい
1873年、福山市沼隈町大字草深に生まれる。1931年自宅で死去 59歳

しょうがい せいしやうねんきやういく ささ
1 生涯を青少年教育に捧げる。

せいねん がくしゅう じゅうようせい とな ぜんこくそしき けっせい すいしん
2 青年の学習の重要性を唱え、全国組織の結成を推進。

いなかせいねん じひしゅつばん いなか す がっこう かたが せいねん ひと
3 1896年、「田舎青年」を自費出版。「田舎に住む、学校の肩書きなき青年も等しく

せいねん かだ いなかせいねん せいねんうんどう げんてん たか ひょうか
青年なり」と書き出す「田舎青年」は、青年運動の原点として高く評価される。

こうみんきやういく ふきゆう かつどう はしら ぬまくまぐんせいねんかい けっせい
4 1906年、公民教育の普及を活動の柱にした沼隈郡青年会を結成。

ぬまくまぐんせいねんたいがい いまづかわら かいさい まんにん さんか
5 1907年、第1回沼隈郡青年大会が今津河原で開催され、3万人が参加したといわれ

たきのすけ いっせき どう いらい へ せい
る。瀧之助が一石を投じて以来5年を経てこの成果となる。

ぜんこくせいねんたいがい なごやし かいさい せいねんだんけっしゅう
6 1910年、第1回全国青年大会が名古屋市で開催され、青年団結集に

じんりよく こうせき たた
尽力した功績を称えられる。

じゅんがいせいねんこうしゅうじや こうし ねんかんぜんこく しょ しどう
7 1924年から巡回青年講習所の講師として6年間全国120ヶ所で指導。

やまもとたきのすけ たす とも せいねんきやういく じんりよく せいねんがいぐんちやう よ ぬまくまぐんちやう
なお、山本瀧之助を助けて共に青年教育に尽力し「青年会郡長」と呼ばれた沼隈郡長

あんのしんいち ごしやだいふくやましちやう かつやく おお こうせき のこ
阿武信一は、その後初代福山市長として活躍され多くの功績を残されている。